

ROSE

文化情報誌
ロゼ

2005 WINTER Vol.50

ROSE THEATRE
ART INFORMATION
OF FUJICITY
CULTURE MAGAZINE
ROSE



ロゼの片隅

INTERVIEW

伊勢正三

EVENT CALENDAR 2005

粋な大人時間

特集 富士芸術村開村

The
舞台裏

ロゼシアター開館記念日公演

ウィーン交響楽団コンサート

Flash Back & Audience Voice

ピックアップアーティスト

INFORMATION FROM ROSE THEATRE

ロゼの素顔





伊勢正三

Interview

自分たちが生きてきた時間にもっと自信を持って欲しいし、
ちゃんと認識して欲しいですね。
僕たちがあの七十年代に過ごした青春の意味があるはずなんですよ。

ロゼの片隅 katasumi

#4 火の用心 (ひのようじん)



左の写真、どこかわかりますか?実は、中ホールの緞帳裏の裏側。たいていこの劇場でも緞帳裏に、この「火の用心」の文字があります。

昔から火事というのは、劇場にとって最も恐い災害でした。よく連続興行の最終日を「千秋楽」といいますが、芝居の場合は、真ん中のシュウの文字、「秋」を使わず「千穉楽」と書きます。火ではなく、縁起のいい亀に置き換えているのです。いかに劇場が火災に悩まされてきたかが伺えますね。

さて緞帳裏の文字ですが、劇場で働く人達がこれを見て「火の用心」を心掛けるようにあるのだとか。この季節は空気が乾燥します。皆さんも火のもとにはくれぐれもご注意を。

Contents ●

- ロゼの片隅 #4 火の用心(ひのようじん) 1
- INTERVIEW **伊勢正三** 2
あ の 70 年代 に 過 ぎ た 青 春 の 意 味 が あ る は ず な ん で す よ 。
- EVENT CALENDAR 2005 (1・2・3月自主事業公演日・チケット発売日)
● 情報先取り!2005年も魅力あるイベント満載! 5
- **特集** 粋な大人時間
富士芸術村開村 7
- **The 舞台裏** ロゼシアター開館記念日公演
ウィーン交響楽団コンサート 9
伝統のハーモニーにウィーンの風が薫る・・・
指揮:ヤコフ・クライツベルク ヴァイオリン:リディア・バイチ
- Flash Back & Audience Voice 11
■ロゼシアター主催事業 2004年9月~11月 ◆スペシャル・チャイニーズ・アクトバット [DRAGON 龍]
- ピックアップアーティスト 12
◇富士市少年少女合唱団
◇若柳吉以風(わかやぎ きちいほう)日本舞踊
- INFORMATION FROM ROSÉ THEATRE 13
◆コンサートでだるま? ◆ミュージカル制作講座Vol.4受講者募集
◆ホームページリニューアル
◆締切迫る! 新進アーティスト作品展 -Art・Generation 2005- 作品募集!!
- ロゼの素顔 ロゼシアター3階「レセプションホール」 14
編集後記



『かぐや姫』の由来は、こうせつの 「脊髓反射で言葉を喋る」から生まれたもの。

弾くようになって。コンサートが終わった次の日だったら行くこともあるけど、仕事を絡めて釣りに行くというところはほとんど無いですね。コンサートはコンサートだけに集中するようにしています。だけど、体調管理の為に温泉に行くことはあるので、仕事と温泉を絡めていることは多いです。

富士市は「かぐや姫」の発祥の地という言い伝えがあります。

今までも、コンサートで静岡にいらっじゃっています。印象はいかがですか？

僕は大分県の生まれ育ちなんですけど、静岡と大分は、海と山とみかん畑という共通点があるので、そういう気候風土で育った方には、僕の感性を解ってもらえるんじゃないかなと思います。お客さんの反応もすごく良いし。それから、僕は魚釣りが大好きで、この辺だと富士川や芝川がありますけど、釣りをしてみたい場所はたくさんありますね。

地方でのコンサートの時はその土地土地で釣りをされたりしますか？

結構誤解されているんですけど、僕はコンサートの前は釣りはしないんですよ。というのは、ギターを弾くのに、爪に関して最近かなり気を使っているんです。そうすると、三十代は何をしていたんだって話になります（笑）。草野球をやったり、いろいろな所へ行つてアウトドアをやったりして、爪なんて無かったですから。（笑）最近真面目に

僕は知らなかつたんですけど、そうらしいですね。でも、かぐや姫の発祥の地というのが全国にいくつもあるって、その中でこの県がかぐや姫に似合うか？と改めて考えた時に、京都の竹林だったら良いなとは思いますが、それでは話が出来過ぎな様な気がして、そう考えると静岡はピッタリかなと思います。

南こうせつさん、山田パンダさんと組んでいた「かぐや姫」というグループの名前の由来は？

それは、こうせつの思いつきですね（笑）。僕は、アマチュアの時からこうせつとグループを組んでいたから、こうせつの発想とかやり方は誰よりも知っているんですけど、瞬間的に出た言葉、僕は「脊髓反射で言葉を喋る」と言っているんですけど、そういう時に出てくる彼の発想っていうのはすごく素晴らしいんです。それで出た言葉ですね。良く言えば靈感なのかも知れませんが、脳を通過していない思考です。（笑）それから僕は、二代目のかぐや姫のメンバー



だから、生きていくうえで、お互いのことを 思いやるのは基本だと思っんです。 そして、求心力や反発というものを歌い伝える のが僕らの仕事だと思っますね。

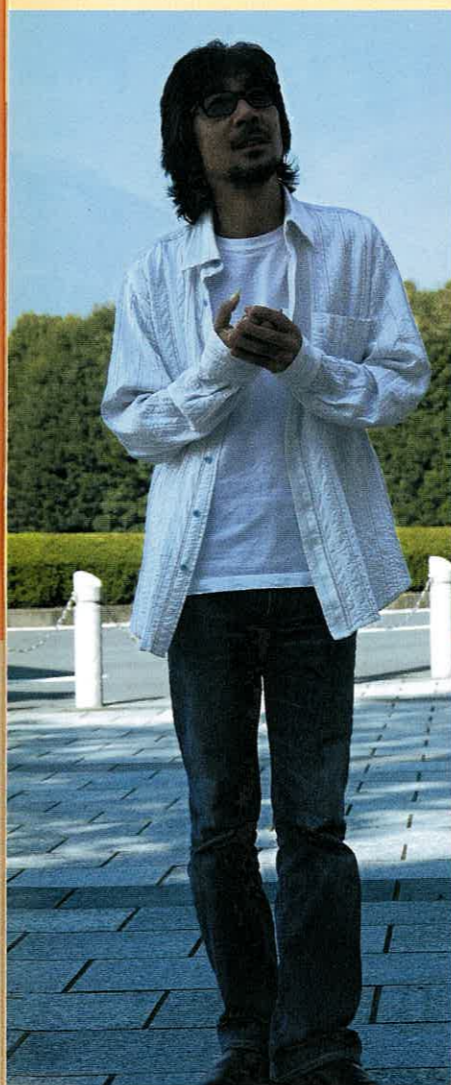
馴染んだ七十年代というのは音楽にとつて本当に良い時代だと思っますね。そういうものを今五十歳を過ぎた段階で表現すると全然違うんですよ。僕自身も歌を歌うという事に対する意識や表現

こういうステージは、基本的には一人一人の持ち時間が何分つと決められているのが多いんですけど、僕がプロデュースをする時は、なるべくその時間を削つてもらつてみんなでつバンドとしてステージに立つて欲しいんです。お仕事の集まつてこれをやるうつていうんじゃないかと。七十年代を育つてきたミュージシャンは横の繋がりがあるから、一緒にやるうつていったらすぐ出来るんです。他の人の歌を歌うのは楽しいし。でも練習はすごく大変なんです。（笑）やっぱり皆さんが耳

なんです。初代は「南こうせつとかぐや姫」というグループ名で、「酔いどれかぐや姫」という曲でデビューしたんですけど、その曲を作った時に初めてかぐや姫という言葉が登場したんですね。その時からこうせつの頭の中には「かぐや姫」というキーワードがあつたんじゃないかな。

歌を通して伝えたいメッセージとは？

僕はラブソングを歌っていますが、ラブソングでも、ものすごくラブが成就するような曲から壊れてしまう曲まで色々なタイプのラブソングがあると思っんです。そして、人間にとつてラブというのは大事な言葉であり現象だと思っんです。僕はこの仕事を与えられたときから、世の中にお返しをしなければ、という強い考えが常にあつて、非力ながら我々ミュージシャンが出来る事と言えば、そういうことをメッセージとして伝えることしか無いと思っんです。僕自身、具体的なメッセージソングをいくつも書いているし、これからも書いていくつも



「雪」
伊勢正三
2004.10.22

力は当然変わってきているし、それが解つてきた気がするんですけど。だから五十歳を過ぎて、ある意味でやつと演奏する側としての歌を歌えるようになったと思っます。だからこそ聞いてくれる人達はもつともっと頑張つて欲しいですね。フォークプラザのお客さんは、僕たちと同じ世代を生きてきた人たちが多いと思っんですが、自分たちが生きてきた時間にもつと自信を持つて欲しいですね。もしかしたら僕はコンサートを通じて伝えたいことはそれかも知れないですね。僕たちがあの七十年代に過ごした青春の意味があるはずなんです。

今回大盛況の「ロゼフォークプラザ2004」に続き、来年「ロゼフォークプラザ2005」もお願いできますか？

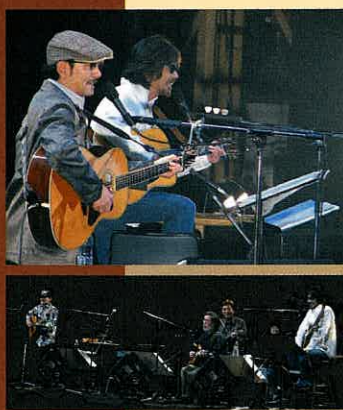
はい。喜んで。

今日はありがとうございました。

（取材／神田隆文 文／矢部哲也 撮影／小川博彦）

10月22日
伊勢正三プロデュース
「ロゼフォークプラザ2004」
出演：伊勢正三・太田裕美・高田 渡・大野真澄(元GARO)

究極のギターテクが鳥肌モノだった伊勢さんの「冬京」、変わらぬ歌声にキュンとなった太田裕美さんの「木綿のハンカチーフ」、大野真澄、伊勢正三の絶妙なデュオによる「学生街の喫茶店」、存在自体が古典落語のような芸術的域に達した感のある高田渡御夫のステージ、演奏の全てが「ハイライト」と言える最高のライブでした。往年の名曲中心の構成、キラ星のような個性派三人の魅力が余すところ無く引き出したプロデューサー伊勢正三の力量にも感服です。オーディエンスのほとんどが中年の方々、でもその瞳はかつてのギター少年、フォーク少女に戻つてキラキラしていたのが印象的。家に帰って古いギターを引っ張り出した人、多かつたんじゃないかな。素晴らしい一夜をありがとう正さん!! (文／永沢純一)



EVENT CALENDAR 2005

3 MARCH

3/5 SAT ザ・ハーブ・コンサート

中ホール
開場/18:30 開演/19:00
入場料(全席指定・税込)
1階席/4,000円 2階席/3,500円
学生均一/2,000円
チケット好評発売中



アイリッシュ・ハーブの響きが聴き癒し、フィドル、バグパイプの旋律が胸を打つ。ステイヴン・プレイヤーズの躍動感溢れるアイリッシュダンスも見もの!

3/5 SAT ロゼシアター公募展 新進アーティスト作品展 Art Generation 2005

展示室
入場無料 10:00~19:00

3/13 SUN 今回で3回目を数える「新進アーティスト作品展」静岡県東部、中部の若き芸術家のアートをお楽しみください。

3/19 SAT チケット発売日 日野皓正・山下洋輔・川嶋哲郎 SUPER JAZZ LIVE

会員(12:00~) 中ホール
公演日/6月24日(金)
開場/18:30 開演/19:00
入場料(全席指定・税込)
1階席/5,000円 2階席/4,500円

3/20 SUN 一般(9:00~) 入場料(全席自由・税込)
1階席/5,000円 2階席/4,500円

世界的ジャズミュージシャンによる夢の競演が実現!

3/21 MON ロバの音楽座 愉快的コンサート

小ホール
1回目 開場/12:30 開演/13:00
2回目 開場/15:30 開演/16:00
入場料(全席自由・税込)
均一/2,000円
チケット好評発売中



ここあたたまる「音と遊びの世界」をこども達に。

※3歳以上は入場券が必要
※2歳以下は保護者1名につき1名以上鑑賞可

■チケットのお求め・お問い合わせは
☎0545-60-2500
ロゼ・チケットセンター
(9:00~19:00)

プレイガイド
【沼津地区】 ●マルサン書店沼津仲見店 055-963-0350
【富士宮地区】 ●カフェ書店 富士宮・宮原店 0544-24-7160
●ユニオンデラス富士宮店 0544-24-6777(代)
【オールジャンル受付ダイヤル】 0570-02-9999

※インターネットで公演情報がご覧いただけます。
ロゼシアターホームページアドレス http://rose-theatre.jp
※メールマガジン「ろせなび」に登録受付中。
※学生席・団体割引・車椅子席は、ロゼ・チケットセンターへお問い合わせ下さい。
※未成年者向けの鑑賞はご遠慮下さい。
※託児サービス(2歳以上の未成年者)は公演の1週間前までに、電話で予約受付致します。(無料サービス)

2 FEBRUARY

2/3 THU 鮫島有美子の「夕鶴」

新演出 セミ・ステージ・オペラ
原作・脚本:木下順二
音楽:團伊玖磨
演出:栗山民也
指揮:現田茂夫
管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団
出演 づう:鮫島有美子
与ひょう:持木 弘
運ず:牧野正人
惣ど:池田直樹

大ホール
開場/18:30 開演/19:00
入場料(全席指定・税込)
S席/7,000円 A席/6,000円
学生均一/3,000円
チケット好評発売中

2/6 SUN ヤングふじ寄席⑥

出演:立川らく八・立川志らべ
立川らく次・立川らく太
小ホール
開場/13:30 開演/14:00
入場料(全席自由・税込)
均一/1,000円
チケット好評発売中



いよいよ最終回!
右手芸人4人による落語、
踊りと見所満載!!
真打になる日も近い?

イラスト/らく次 ▶



らく八 志らべ らく次 らく太

2/11 FRI クラシネマ!コンサート

(協力:富士クラシック協会)
小ホール
開場/18:00 開演/18:30
入場料(全席自由・税込)
均一/1,000円(ワンドリンク付)
チケット好評発売中

クラシック+映画音楽=クラシネマ!
往年の名作から近年のヒット作まで、映画に登場する
名曲を集めて演奏します

2/12 SAT チケット発売日 会員(12:00~)

2/13 SUN 一般(9:00~)



ジャン・ワン チェロリサイタル

中ホール
公演日/5月21日(土) 開場/18:30 開演/19:00
入場料(全席指定・税込)
1階席/4,000円
2階席/3,500円
学生均一/2,000円

今や世界屈指の存在!躍進を続ける天才チェリスト。
パッパの無伴奏チェロ組曲は必聴

富士から広がる未来への想い
「響天動地」とは「響天動地」
に由来されるビックバン。まさに
無から命が誕生する様を新生
鬼太鼓座の姿に置き換えてい
ます。鬼太鼓座の新たな挑戦
の始まりです。



毎年恒例となった「ふじ寄席」
今年も、テレビ・CMでもお馴染みの
「立川志の輔」の登場です。
新春初笑い!ロゼシアター中ホ
ールで!

2/18 FRI ふじ寄席 「立川志の輔 新春独演会」

中ホール
開場/18:00 開演/18:30
入場料(全席指定・税込)
1階席/3,500円 2階席/2,500円
チケット好評発売中

1 JANUARY

1/14 FRI ウィンナー・ワルツ・オーケストラ

プログラム(予定):美しく青きドナウ、皇帝円舞曲、スケルツォ・ワルツ、
喜歌劇「メリー・ウィドウ」より「ヴァリアの歌」、トリッチ・トラッチ・ポルカ 他

大ホール
開場/18:30 開演/19:00
入場料(全席指定・税込)
S席/5,000円
A席/4,000円
B席/3,000円
チケット好評発売中

ウィーンの舞踏会を彷彿させる軽やかな調べ。
音楽の都のリズムにのせて爽やかな風が新春の
香りを運ぶ。
歌に踊りに音楽に、「見て楽しい、聴いて楽しい」
「ニューイヤークンサート」をお楽しみください。



1/15 SAT 東京サギまがいロゼシアター第2回公演 「神風のレクイエム」

脚本:ダンカン 演出:須間一彌・ダンカン 音楽:グレート義太夫
出演:須間一彌・ガラかつし・山田能龍・大出雅也・小春・由貴・麻田真夕 他

小ホール
開場/18:30 開演/19:00
入場料(全席自由・税込)
前売り/一般3,000円(学生/1,500円)
当日/一般3,500円
チケット好評発売中



1/16 SUN 小ホール
開場/13:30 開演/14:00
入場料(全席自由・税込)
前売り/一般3,000円(学生/1,500円)
当日/一般3,500円
チケット好評発売中



中尾共宏は、77歳になるどこにでもいそうな種や
かな老人である。彼が長い人生の中で悔いてい
ることといえば、戦争で学問を学べなかったこと。
そして、もうひとつ……
一念発起。共宏は過ぎ去った青春を取り戻そうと
でもする様に定時制の高校に入学。しかし、そこ
で彼を待っていたものは非情にも「いじめ」の現
実であった。
この冬あなたの心に老若ラブファンタジーというカ
イロをお届けします。 By ダンカン

ダンカンの時事を織り交ぜた最新の笑いつぶりの脚本、グレート義
太夫の斬新で繊細なメロディ、役者も務める須間一彌の緻密な演
出。是非お見逃しなく!

1/22 SAT チケット発売日 Lynx リンクス

会員(12:00~) 中ホール
公演日/4月15日(金)
開場/18:30 開演/19:00
入場料(全席指定・税込)
1階席/3,000円
2階席/2,500円
学生均一/1,500円



1/23 SUN 一般(9:00~) 小泉首相も絶賛!見ても聴いても
楽しいフルート・アンサンブル

公演情報 4月3日(日) 中ホール 富士市少年少女合唱団30周年記念 オペレッタ「お姫様の出発」

脚本:丸茂滋祥 音楽:大澤徹訓 脚色・演出・振付:三浦克也
1回目:開場/10:30 開演/11:00 2回目:開場/14:30 開演/15:00
入場料(全席自由・税込)1,000円
チケット1月下旬発売開始
富士市に伝わる「かぐや姫」のお話をファンタジックなおペレッタに!

「富士芸術村」インフォメーション

<活動内容>

- 芸術・文化に親しむ人たちが気軽に集える場の提供
(ワークショップ(美術講座・実技講座)開催)
- 富士地域の芸術・文化の向上と情報交換などの交流の場
- 芸術・文化に取り組む人たちの創作活動や美術教育の育成
- 市内外、国内外など国際的な芸術活動や文化交流

<今後の展示・ワークショップなど予定>

2005年1月14日(金)より開村予定
毎週金・土・日 10:00~16:00 (夏期10:00~17:00)

○4月~7月
英語でお茶会(外国人対象)

○ワークショップ(10:00~12:00)参加費無料
1月15日(土) 凧をつくらう
2月20日(日) 建物探検
3月20日(日) おひな様をつくらう(石に絵を描く)

○ワークショップと展示
1~3月「竹の造形」 毎週金・土・日曜日を使って芸術村で竹と紙を使った作品をつくります。

○作品展(日程検討中)
夏池 篤(彫刻家、常葉学園大学教授)
内海 建夫(平面作品を中心に活動、常葉学園大学卒業生)



<問い合わせ>
〒417-0801 富士市大淵上原1516
「富士芸術村」TEL.090-2342-7754

ロゼシアター公啓展 新進アーティスト作品展 —ART GENERATION 2005—のお知らせ

この作品展は、地域の芸術文化水準の向上を図っていくとともに、未来の可能性を感じさせる若手アーティストを見出し、作品発表の場を提供することを目的に開催します。新進アーティストたちの、斬新で新しいものに挑戦し、活力あふれる作品をぜひご覧ください。

[全 期]
2005年3月5日(土)~13日(日)
10:00~19:00 入場無料 ※7日(月)は休館日
[全 場] ロゼシアター 展示室
[主催/お問合せ]
(財)富士市文化振興財団「新進アーティスト作品展」係
TEL:0545-60-2512
e-mail:info@rose-theatre.jp



取材/鈴木昭高 高橋浩美
文/高橋浩美



拾ってきた枯れ葉を色画用紙にボンドで貼っていきます。切ったり重ねたりいろいろ工夫します。



まずは枯れ葉集めからスタート、好きな形や色の枯れ葉を探します。



できあがり!!



テーマは自由、芸術村のひろ～い庭で行われました。

11月7日(日)に第3回ワークショップが開催されました。参加者は約20名。

「貼り絵」ワークショップ

さわやかな秋晴れの中、赤や黄色に染まったイチョウや柿の葉を使った貼り絵のワークショップ。散歩中にふらりと立ち寄った近所の方も急遽参加したり、和気あいあいとしたアットホームな雰囲気、完成した作品はどれも個性あふれるステキな作品でした。

富士市全体が「芸術村」そしてその中心が「富士芸術村」でありたい。

「富士芸術村」がオープンして約2ヶ月。その後の反響・感想・様子などはいかがですか?

テレビや新聞など様々な報道のおかげで反響は大きいです。市内はもちろん、市外では三島、沼津、焼津、伊豆、浜松などから問い合わせがあったり、実際に来ていただきました。ようやくなんとか少しずつ近所の方々にも親しみをもちてもらえるようになってきたかな。

「富士市にないものをオープンしたので、それに対する反響はやはり大きかったです。ですが、反響だけで終わらずに、今後継続していくことが一番大切で難しいことだと実感しています。

「理想とする「富士芸術村」とは芸術とか文化がわからなくてもいい、ここに来れば何かやっていると、興味を持つている人たちが気軽に集まれる場所が「芸術村」でありたい。そして私の理想は富士市全体が芸術村でその中心がこの「富士芸術村」でありたいと思うんです。この考えは「芸術村」で始まったわけではなく、もう10数年前から「アートスクランブル」でこう

いった活動を続けてきたんです。



Fuji art village

「富士芸術村」とは・・・

「富士芸術村」(旧藤田邸)は、文化・芸術に親しむ人たちが気軽に集い、交流できるような場所を、2004年9月12日(日)、富士市大淵に開村しました。村長は、富士美術研究所代表の漆畑勇司さん。

藤田邸は、元富士市議会議員の藤田久幸さん(平成5年逝去)の居宅で、その後、遺族から富士市に寄贈されました。建物は、築50年ほどの木造2階建て、延べ床



「芸術村」は、市民が感じるまま思うままのびのびと利用できる空間です。そして、自由な創造と発想の中で活動している作家の発表の場を援助していきたいと考えています。

ワークショップに参加した子供たちが、成長して何年かたつていつの日か記憶の片隅にでも「芸術村」のことを覚えていてくれたらうれしいですね。

芸術村村長、富士美術研究所代表、後進の指導と忙しい毎日を送る漆畑氏。しかし、「すべての活動の原点は彫刻家としての自らの制作活動です」と楽しそうに、そしてまっぴらのお話してくださいました。



面積約330平方メートル。部屋数は10部屋以上あり、昔懐かしいいへん情緒あふれる空間で、庭も広く季節感がとても身近に感じられる閑静な場所にあります。まさに本物の芸術を堪能できる、市民に開放された空間といえるでしょう。ワークショップ(美術講座・実技講座)やアトリエ(工房)・またはギャラリー(画廊)としてなど様々な用途に応じた柔軟な使い方ができるのも芸術村の魅力のひとつです。

そして、その運営や管理は運営委員会とボランティアが中心となり、「富士市の芸術・文化を支えていこう」という登録制による「村民」によって運営費がまかなわれています。



「芸術村」開村から約2ヶ月、これまでにオープン記念作品展を皮切りに市内外在住の中堅・若手アーティストの作品展が開催されてきました。このアーティストの中には以前にロゼシアターで作品展を開催したり、「ロゼシアター公募展 新進アーティスト作品展」に応募した作家もいます。

旧家を活用した、建物とアトリエが融合した芸術空間、今後ますますユニークで画期的な試みが期待できそうです。ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

村長/漆畑 勇司さん (富士市柳島在住)

1955年 静岡県富士市に生まれる
1978年 東京造形大学彫刻科卒業 佐藤忠良氏に師事する 彫刻家として活動始める
1979年 富士美術研究所設立
1996年 富士市文化奨励賞受賞
19年間、県立富士高等学校美術講師を務める 現在、富士美術研究所代表

個 展 田村画廊(神田) ギャラリー山口(京橋) フジ・アートギャラリー、ロゼシアター(富士) アート・スクランブル(富士) 富士市立博物館

グループ展 1978~1987彫刻二人展(静岡・愛知) 余人展(ギャラリータケイ) 静岡彫刻集団、二人展(ガスサロン・静岡) 二人展(真木画廊・神田) イシバシプラザ、TEPCO、depot103、新宿区民センターなどでグループ展
1990~アートビクニック 1991~アートセッション

作品設置 2003年9月「水と光」静岡県富士水泳場 JAやすらぎ会館 フィランセ 平安葬祭 富士南小学校 田子浦小学校 今泉小学校 吉原北中学校 富士中学校 広見公園3点 個人蔵4点

ウィーン交響楽団コンサート

The 舞台裏

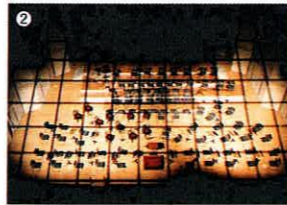
2004.11.1 MON

Q 第1ヴァイオリンと第2ヴァイオリン、それぞれの2列目の譜面台に、ヴァイオリンが吊り下げられていました。さて、このヴァイオリンは何のため?



A 実はこれ、万が一演奏中に、ヴァイオリンパートの中で、弦が切れたりした場合などに備える予備の楽器です。幸いこの日の出番はありませんでしたが。

- ①シーリング(天井部)のスポットを操作しているところ。
- ②第1シーリングから見下ろすと、ステージ上はこんなふうに見える。
- ③照明あわせも終わり、準備完了。



15:20 照明あわせ
客席からステージがきれいに見えるよう、またステージ上からも、指揮や譜面が見えにくくなったりしないか、注意を払いながらあわせませす。

- ①バックステージはリラックスモード
- ②舞台の隅で、練習しているトロンボーン奏者。
- ③本番直前舞台袖に集まる楽団員たち。次第に緊張感が高まる。



18:40 本番直前
リハーサルを終え、メンバーは東の間の休息時間。でも中には、ひたすら楽器に向かうメンバーもいたり…。本番に向けての集中力の高め方は、人それぞれです。

- ①リハーサル開始前のコントラバス奏者。
- ②メンデルスゾーンを演奏するリディア・バイチ。
- ③細かい部分の確認をしている様子。



17:30 メンバー到着リハーサルへ
指揮者、ソリスト、楽団員が到着。移動による疲れも見せず、明るい表情のメンバーたち。元氣じゃなければ、動まらないといえ、それにしても外国の方は、タフです。そして落ち着く暇もなく、ステージへ。リハーサルがはじまります。

19:00 本番
本番が始まりました。この日のプログラムは、こちら。

ベートーヴェン………序曲「コリアン」
メンデルスゾーン………ヴァイオリン協奏曲
ブラームス………交響曲第1番
いずれも重厚かつ華麗なサウンド。さすがは世界のトップ・オーケストラ。割れんばかりの拍手に応え、アンコール曲に「シユトラウス「春の声」」を演奏してくれました。プラボー!



- ①美しいヴァイオリンの音色が、ホールに響く。
- ②メインは、ブラームスの交響曲1番。圧巻!
- ③喝采に応えるマエストロ。とてもいい人でした。

クラシック音楽という、何をイメージしますか? ピアノ曲ですか?それともタクトを振る指揮者の姿ですか?オーケストラを思い浮かべた方もいるでしょう。数十人もの(時には百人を超える!)楽団員がステージに整然と並び、一糸乱れぬ演奏を繰り広げる様は、まさにクラシック音楽の華です。今回の「THE 舞台裏」は、オーケストラ・コンサートの舞台裏、11月1日に行われたウィーン交響楽団をご紹介します。

14:00 ステージ準備

この日、楽団員はおよそ90名の大編成。平台と呼ばれる木製の台で、台組を作ります。同時に、譜面台やイスもステージ上に揃えます。



- ①編成が大きければ、もちろんイスや譜面台も多くなるわけです。
- ②図面を確認しながら、ステージ作りが進められます。
- ③日本の劇場では今も、長さの単位を尺寸法で呼びます。「二尺奥に」「三寸上げて!」そんな声が、あちらこちらから。ちょっと?の世界。

14:30 楽器搬入

台組が出来上がると次は楽器の搬入。小さい楽器は、演奏者個人で持ち歩きますが、コントラバスなどの大型楽器は、専用車で移動。はるばるウィーンからやってきた楽器たち、ハードケースに入っているの、すごく重い。運び込みは重労働。



- ①11t車から楽器を下ろす。
- ②これはコントラバス用のイス。かなり使いこんでいるよう。
- ③ハードケースにみつけた、JAPAN2004のステッカー。WSは、ウィーン・シンフォニカーの頭文字。
- ④続々と搬入される巨大なハードケース。これは一体?
- ⑤実は、コントラバスでした。
- ⑥ずらりと並ぶコントラバス。壮観です。
- ⑦マエストロの楽屋は、こちら。
- ⑧バックステージは、楽団員の衣装ケースで一杯。

プロのオーケストラには、ステージ周りの仕事をする専属スタッフがいます。コンサートをスムーズに行なうために、たいへん重要な存在です。特にツアーの場合は、初めて訪れる会場も多いので、ホール側との打ち合わせ、移動準備、リハーサル、本番と、楽団員以上に大忙しです。

ウィーン交響楽団の場合、ウィーンから随行しているステージ・マネージャーが2名、それに日本人のステージ・マネージャーが1名同行します。この日も、時間通りに到着し、着々と準備が進められます。ステージ設営から、楽器搬入、照明合わせ等、次第にステージが仕上がっていきました。ごく当たり前の光景のように見えますが、こうした準備が順調に進むのは、やはりそこに携わる人たちがみなプロフェッショナルだからなのです。

やがて楽団員が到着。リハーサルから本番までの短い時間の間に、集中力を高めていきます。ステージ・スタッフは、リハーサルが終わると、ステージ上の最終チェックをして、いよいよ開場。コンサートが始まります。

この日のコンサートは、ヤコフ・クライツベルクの指揮、リディア・バイチをヴァイオリン・ソロに迎え、ドイツロマン派を代表する作品を3曲披露。さすが音楽の都を代表するオーケストラでした。最後は、喝采に応え、ヨハン・シユトラウスの「春の声」で終演。舞台袖では、コンサートの間、ステージを見守り続けていたスタッフたちも、暖かい拍手を贈っていました。

(取材:文/大倉卓馬)

Flash Back

●出演/アクロバ
各小学校体育館
富士見台小/吉永第一小/
吉原小/藤田小/今泉小/
元吉原小/須津小/東小

ふじ少年少女芸術劇場
小学校学校コンサート

西アフリカ・ガーナからやってきた「アクロバ」の5名のメンバーは小学生に大人気。陽気でリズムカルなアフリカ音楽とダンスについて、児童たちも一緒に踊りだしてしまいました。

9月12・15日
火 金

ロゼシアター主催事業
(9月~11月まで)

フラッシュバック
2004

9月 11月

2004年 クレメンティー賞受賞記念
本多まきフォルテピアノリサイタル

富士出身で、現在フランスで活躍中の本多まきさん。繊細で美しいフォルテピアノの音色がホールをやさしく包んでいました。

9月30日
木

美輪明宏 音楽会「愛」

ゴージャスな舞台セット、幻想的なステージで美輪ワールドがたっぷり繰り広げられました。圧倒的な存在感を感じさせるコンサートでした。

11月20日
土

ベルリン弦楽四重奏団
ピアノ/杉山倍美

「完全御礼」となった本公演。ベルリン弦楽四重奏団の繊細なハーモニーと地元富士市のピアニスト、杉山さんとの息の合った演奏は素晴らしいものでした。

11月18日
木

伊勢正三プロデュース
ロゼフォークプラザ2004

●出演/伊勢正三、太田裕美、高田渡、大野真澄

終演予定時間をかなり延長して盛り上がったコンサート。来場者はフォークソングの名曲の数々に懐かしい思い出を重ね合わせていました。

10月22日
金

Pick up artist

若柳吉以鳳



昔から、芸事は六歳の六月六日から始めると上達すると言われている。その六歳から日本舞踊を始めた若柳吉以鳳さん。「母が私に日本舞踊を習わせたかったらしくてそれに祖父が日舞を好きだったということもあって…」と語る。その

口調はおしとやかさの中に芯の強さを感じさせる。

富士市に住む日本舞踊家の若柳吉以鳳さんに師事し、日本舞踊一筋。「日本舞踊をやめようと思ったことは一度も無かった。自分にはこれしかないかなという思いが強く。ただ、何で自分は上手にできないんだらうって悩んだことはあります。でも、壁にぶつかったときも、やめてしまおうではなくて、その壁を乗り越える方法を考えていました。」常に前向きな姿勢で日本舞踊に向き合っている。そして、「ここまでやってこれたのは、自分で頑張ってきたというよりも、常に母が力を貸してくれて、周りの方々が温かく見守っていてくれたからだと思います。」

ますし、何よりも根気よく教えていただいた若柳吉以智師匠のおかげだと思っています。最近には特にその思いが強いです。」と語る。

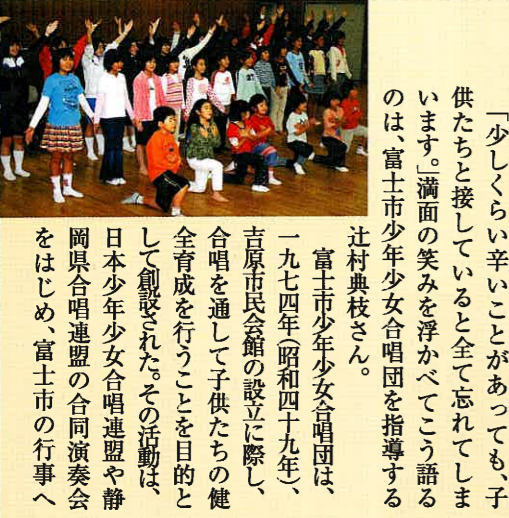
二月二十七日には「若柳吉以智日本舞踊公演」への出演も決まっております。その稽古にも余念が無い。「舞台上に立つ時に恥ずかしいものは見せられないと思うし、若柳という名前をけがすようなことは出来ないで一杯頑張りたいです。そして、日本舞踊を見たことの無い方に、是非見ていただきたい。日本舞踊をもっと多くの人に知って欲しい。」とその思いは熱い。



◇出演舞台情報◇
若柳吉以智日本舞踊公演「傘路の慶姿」
平成17年2月27日(日)
開場10:30 開演11:00
ロゼシアター中ホール
入場料(全席自由・税込み) 3,000円
お問い合わせ/若柳吉以智
TEL0545-52-8701

今後について何うと「踊りをする人はたくさんいますが、私の目標は吉以智師匠のような本当の「踊り心」を持った舞踊家になることです。」と真直ぐな表情で語ってくれた。これからの活躍に大いに期待したい。

富士市少年少女合唱団



「少しくらい辛いことがあっても、子供たちと接していると全て忘れてしまいます。満面の笑みを浮かべてこう語るのは、富士市少年少女合唱団を指導する辻村典枝さん。

富士市少年少女合唱団は、一九七四年(昭和四十九年)、吉原市民会館の設立に際し、合唱を通して子供たちの健全育成を行うことを目的として創設された。その活動は、日本少年少女合唱連盟や静岡県合唱連盟の合同演奏会をはじめ、富士市の行事へ

の参加、地元日本舞踊団体とのコラボレーションと幅広い。また、富士市の姉妹都市であるアメリカオレゴン州と、合唱を通じての親善交流を行っており、「合唱団として、歌を通して日本全国のそして世界のの人たちと交流できるのはすごく嬉しい」と語る。

その富士市少年少女合唱団も創立三十周年を迎える。「大勢の子供たちが合唱団を巣立っていったけど、そのほとんどが今でも何らかの形で合唱団に関わってくれている。そして二世代に渡って合唱団に入団してくれる子もいる。やって

きて良かった」とその三十年を振り返る。

そしてその記念事業として上演するのは、オペレッタ「お姫様の出発」。富士市に伝わるかくや姫伝説をモチーフとしたこの作品は、一九九四年(平成六年)に富士市少年少女合唱団により初演されている。「この作品は私たちの大事な宝物なんです。そして今回は、ロゼシアターのミュージカルでもお付き合いさせていただいている三浦克也先生に脚色・演出・振付をお願いしているの、今までとは違った「お姫様の出発」になるのではという期待で一杯です。」と公演に向けての士気を高める。

今後の抱負について何うと、「お姫さまの出発の続編を作りたいですね。あとは、子供たちが経験したことのないことに挑戦したい。例えば、オーケストラと

共演できたりしたら素晴らしいかなと思いますね。そして、今まで以上にいろいろな合唱団と交流を持って、富士市に招いて合同演奏会が出来たら最高ですね」と更なる飛躍を語る。

今後の活躍に大いなる期待を感じさせてくれる富士市少年少女合唱団。これからも子供たちの爽やかな歌声を聞かせてくれるであろう。



富士市少年少女合唱団
30周年記念
オペレッタ「お姫様の出発」
平成17年4月3日(日)
1回目/開場10:30 開演11:00
2回目/開場14:30 開演15:00
ロゼシアター中ホール
入場料(全席自由・税込み)均一1,000円

Pick up artist

Audience Voice



富士市元町在住
矢部展子さん、直輝くん

全部面白かったです。頭に装飾がついた帽子を付けていても回転が出来るのは凄いなと思いましたね。大きな一輪車も、瞬時に顔が変わる変面も、火を吹いたりしたのも、全てが凄いな一言ですね。川劇は真剣な所もあれば、サーカスのピエロみたいに笑わせる部分があったりと親子で楽しめました。機会があればまた見たいです。



富士市松本在住
石川喬雄さん、ますみさん

面白かったし楽しかったですね。中国でも何度か見たことがありますけど、同じようなものが富士市で見ることが出来て良かったです。川劇は言葉が解らなくても十分楽しめるのですが、やっぱり字幕が欲しいですね。北京で見た時も字幕がありました。川劇の中の言葉は、日本の能や歌舞伎のように昔の言葉で語っているので…。でも途中で解説が入っていたので解りやすかったですね。



アジアの風シリーズVI
スペシャル・チャイニーズ・アクロバット

雑技・京劇・川劇と中国伝統芸能を集約したステージでは、目を離すことができない演出が繰々登場。雑技・雑技といったアクロバットが映まるたびに客席から拍手が送られていました。中でも、川劇独特の秘伝の技「変面」では一段と大きな拍手と歓声があがっていました。

コンサートでだるま?

11月18日に行われたベルリン弦楽四重奏団演奏会、終演後の舞台上での「マ、コンサート」の成功を祝い、クアルテットのメンバーと今回共演した杉山倍美さんの5人で「目入れ」のセレモニーを行いました。この日本の伝統儀式、クアルテットのメンバーたちにも、とても喜んでもらえ、終演後のひとときも楽しい時間となりました。



ホームページリニューアル

ロゼシアターのホームページがリニューアルしました。
各施設の空き状況とご案内
自主事業のご案内
イベントカレンダー
新着情報(随時更新)
市民ミュージカルのページ
MAYコンサートのページ
など、内容盛り沢山!

メールマガジン「ろぜなびと」の登録者も受付中!!
http://rose-theatre.jp
へ今すぐアクセス!!

ロゼシアターHPのTOPページ

ミュージカル制作講座 Vol.4 受講者募集

ミュージカルとはなんぞや?
基礎用語から舞台技術まで、ミュージカル制作するうえで必要不可欠な舞台知識を学びませんか?

日程(全6回)
平成17年2月26日(土) 14時~18時 リハーサル室
2月27日(日) 10時~17時 リハーサル室
3月5日(土) 14時~18時 リハーサル室
3月6日(日) 10時~17時 リハーサル室
3月12日(土) 14時~18時 中ホール
3月13日(日) 10時~17時 中ホール

講師 三浦克也(劇団Theater Japan代表)

内容 ミュージカル制作についての講義と実践

募集期間 平成17年1月30日(日)~2月6日(日)

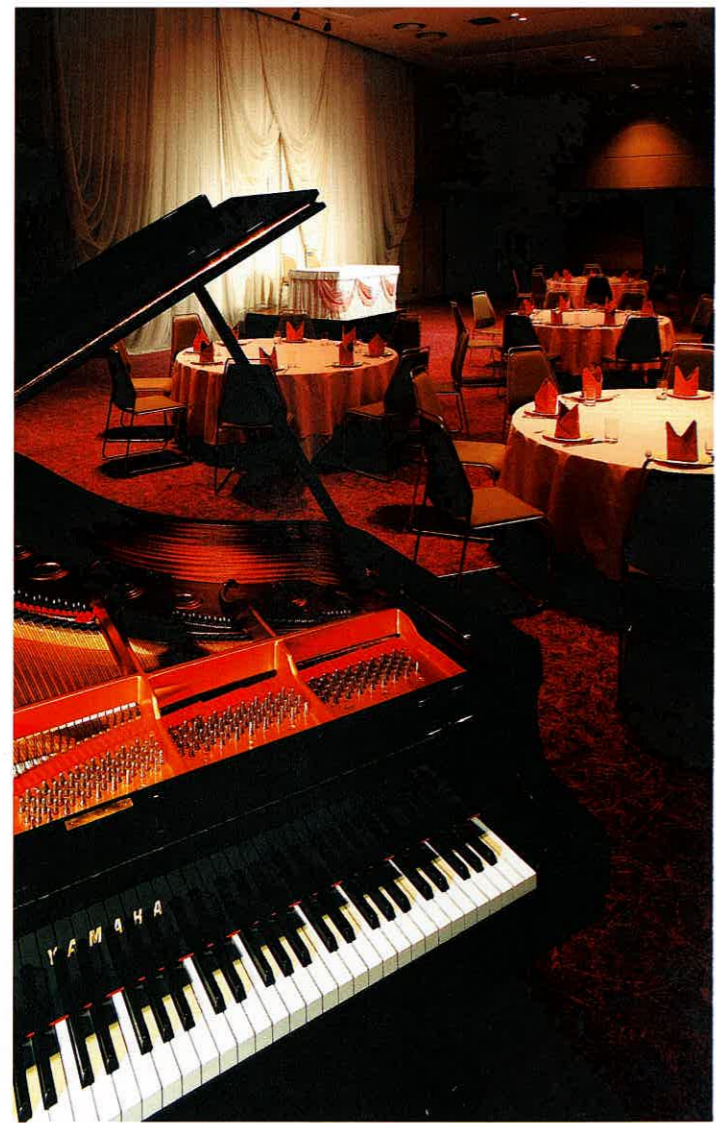
対象 左記の条件を満たしている方
・ミュージカル 演劇に興味がある方
・富士市に在住又は在勤又は在学中の方
・高校生以上
・全日程に参加できる方

定員 20名
受講料 3000円

申込方法 ロゼシアター1階財団事務室まで受付の申込用紙に必要事項を記入の上、直接持参してください。

お問い合わせ (財)富士市文化振興財団 事業課事業担当 TEL.0545-60-2512

感動、フォルテシモ。



「レセプションホール」

天井が高く、北側二面がガラス張りの開放的な空間となっているロゼシアター三階レセプションホール。
着席での利用は百八十名様、ビュッフェスタイルの立食パーティーは約三百名様までご利用いただけます。
結婚披露パーティー、会社の創立記念パーティー、大・中・小ホールでの催事後の懇親会、その他各種御宴会とお客様のプランに合わせたパーティーをどうぞ。
ホテルグランド富士直営「レストランロゼ」の御料理と共に楽しい時間をお過ごしください。
お申し込みはロゼシアター一階事務室にて承っております。

使用基本金額(税込)	単位:円
9:00~12:00	10,500
13:00~16:30	15,750
17:30~22:00	21,000

※御料理・御飲物の料金は含まれておりません。
※使用者が商業宣伝、営業またはこれらに類する目的で使用の場合は、金額が異なります。

編集後記

「最近の芝生は冬でも緑だな」テレビでラクビー観戦しながら思う。昔のラガーマンは枯れ芝のフィールドを駆けまわっていた。接触プレーで倒れると、救護係が大きなやかんを持ってきて水をかけたが、そんな光景も今は見ない。時代は流れているらしい。でも自分にとっての「それらしさ」って、案外、記憶の中の些細なディテール。(編集担当O)

皆様、ロゼシアターのホームページがリニューアルしたのご存知ですか?以前より情報満載で見やすい画面になってますよ。職員全員で各ページを担当し大忙し...その成果は、お皆様のご判断に。更に「ろぜなびと」という愛称のメールマガジンも新たに配信しています。登録すると、なにか良いことがあるかも? (でんでんむし)

「富士芸術村」の取材の後、漆畑氏のアトリエを見学させていただきまいた。ひとつひとつとした佇まい、一歩中に入ればそこはまるで夢が膨らむ隠れ家、異次元空間。今にも多くの作品が動き出しそうな感じさえしました。すべて手作りの夢の館、そして何よりも楽しそうに作品を眺めていた漆畑氏の姿と笑顔が印象的でした。(HIRROMI)

おかげさまで、本号をもって情報誌「ロゼ」創刊50号を迎えました。この場を借りて、これまでに登場いただいたアーティストの皆様、そして、ご愛読いただいている皆様改めて御礼申し上げます。これからもロゼシアター共々文化情報誌「ロゼ」を宜しくお願いたします。また、掲載希望の文化情報お待ちしております。(編集担当Y)

